

風° 天(プーテン)の由来

「風来坊」とか「ふうてん(瘋癲)」という名前付けは、戦前のあの息苦しい時代にも流行った。気持ちを風流に、または温和に保ちたいという雰囲気からであろう。

戦後になると、例の「わたくし、生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い、姓は車、名は寅次郎、人呼んでフーテンの寅と発します…」。

さて、当協会の初期の委員会で会報を発行すること、その題号をなんと付けるか、という議案が出たときの話に移る。

あたりの提案がいくつかあった。西堀善次氏が唐突に「フーテン・ニュース」ではどうかナ…と言いました。

中口 博会長以下みんな笑い出したが同意した。年配の戦争を潜ってきた人達ばかりであって、西堀氏の意図は読めたからだ。

おおば比呂司氏が題号の図案化を引き受けて、ついでに「フー」ではなく「プー(半濁音)」としたいと提案して「プーテン」に決まったのであった。

引用:2009年11月20日発行の「風° 天ニュース」第94号P23
片桐敏夫(かたぎりとしお)氏のコラムより抜粋